

塾講師がTS異世界転移  
したけど教え子たちし  
かロボを動かさない

星野スミ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

掲示板形式のお話です。

# 目次

エピローグ

|               |     |
|---------------|-----|
| 塾講師と四人の教え子たち  | 1   |
| 月はいくつ出ている？    | 24  |
| 大事なことは最初に報告   | 35  |
| 夜の森           | 45  |
| エルフの謝罪        | 58  |
| 妹の話           | 70  |
| 旅立ち           | 81  |
| 恐竜の谷          | 94  |
| テイラノサウルスの感知能力 | 106 |
| テイラノサウルス軍団    | 121 |
| テイラノの谷、終盤戦    | 131 |
| デカテイラノ決戦      | 145 |



# 塾講師と四人の教え子たち

001：異世界の名無しさん

助けてください

002：異世界の名無しさん

>>1

簡潔かつ詳しい説明を

001：1

その前に、この掲示板、なんなんですか？

こつちに来てからスマホ繋がらなくなったのに、突然、ここだけ閲覧できるようになったんですけど。

挨拶スレに行ったら、新規案件はスレ立てろって言われたんで立てたんですけど。

002：異世界の名無しさん

>>1

詳細は省くけど、それぞれ異なる異世界に転移者した者同士のネットワーク。

昔、頭のいい（おかしい）奴が作った。

俺らは皆、違う異世界からスレを見ている。

ここで訊ねたからって必ずしも問題を解決できるとは限らないけど、イッチを慰めるくらいはできるかもしれない。

003：異世界の名無しさん

そう、別に問題解決できるとは限らない

頼りないな俺ら！

004：異世界の名無しさん

いつものことよ

005：異世界の名無しさん

たまには役に立つこともあるしな

ROMも含めれば1スレあたり百人くらい見てるらしいし

百人寄れば文殊の知恵

006 : 1

ok、把握しました。

簡潔な状況

↓俺、三十一歳塾講師、気がついたら船の中にいた。

↓俺の塾の生徒たち（四人）が一緒。

↓生徒たちしかメカを動かせなくて俺の立場なし（↑イマココ）

どうすればいいでしょうか。

007 : 異世界の名無しさん

>>>1

ごめん、理解が追いつかない。

まず、船とメカって？ イッチの転移した先はSF世界ってこと？

テックレベルいくつ？

008 : 異世界の名無しさん

あ、>>>1へ補足

>>>1の飛ばされた世界がどういう感じか、TL判定スレで調べてみてね

ひよっとしたらMTL判定スレも必要かも

注) テックレベル || TL || Technology Level、MTL || Magic  
al Technology Level ね

009 : 1

テックレベルについて調べて来ました。

TL3 (中世) と TL10 (ロボット) が混在？

MTLは……わかりません、まだ魔法を使う人に会ってないので……。

陸上船にカニみたいな巨大ロボットが積んであって、俺たちはそこに乗ってます。

遠くから街を観察した限りでは、中世っぽい城塞都市がありました。

でも城塞都市の門の前には俺たちの船に搭載されているのに似たカニロボットが  
立っていました。

010 : 異世界の名無しさん

地上船？

011 : 異世界の名無しさん



ホバークラフトでは？

012：異世界の名無しさん

魔法で動くロボットがある世界じゃない？

そうなるよTL3、MTL6くらいか、下手するとMTLだけ10くらいありそう

013：異世界の名無しさん

過去にはMTLが10くらいあって、魔法大戦で没落した文明とかかもね

何にせよ、現地人とまだ接触してないってことでしょ

>>1は城塞都市を発見して、それからどうしたの

014：1

地上から少し浮いて走る船で、けっこう広いです。

ホバークラフト、なのかな？ 詳しくなくてすみません。

都市の人に見つかったっぽくて、速攻で逃げました。

幸い、追ってくるものはいなかったです。

で、これからどうしようか、と……。

015：異世界の名無しさん

逃げたのは賢明な判断、かな

第一次接触前にこつちとコンタクトを取ったのはえらい

016：異世界の名無しさん

俺らが有効なアドバースできるとも限らないけどな

017：異世界の名無しさん

所詮、他人事で他の世界の出来事だからな

018：異世界の名無しさん

敵にすると厄介で味方になると頼りない、それが俺ら

019：異世界の名無しさん

でもたまに役にたつこともあるぞ

実際、俺は個別スレに救われたわ

人魚の幼馴染みスレの者です  
その節はお世話になりました

020：異世界の名無しさん

>>>19

浦島ニキ！ 浦島ニキじゃないか！

水中呼吸魔法、開発できてよかったな！

021：異世界の名無しさん

まあ、浦島ニキみたいに無事人魚と結婚できた人もいる

逆にアドバイスが上手いはずにひどい目にあつた奴もいる

そういう奴は二度とここに姿を現わさないけどな

022：異世界の名無しさん

逆ギレして罵詈雑言飛ばして、それきりになる奴もいっぱいいるな

023：1

上手くいかなくてもキレイたりしません。

こういう場合、どうすればいいんでしょうか……。

今のところ食料プラントが動いてますけど、いつまで保つかかわからないですし……。

024：異世界の名無しさん

食料プラントなんてあるんだ。

便利な船だな。

つーか場合によっては、それ現地人との取引材料になるんじゃない？

025：異世界の名無しさん

テックレベルにもよるけど、ころしてでもうばいとる、になる気がする

026：異世界の名無しさん

そうかもしれない

そうじゃないかもしれない

いずれにしても、いつかは文明と接触する必要があるんじゃない？

027：異世界の名無しさん

その食料プラント、材料を入れたりするの？

それとも勝手に稼働するの？

028：1

食料プラントは勝手に作動します。

動力とかはよくわかりません。

だからいつ動作が停止するか……。

それもあつて、文明と接触するべきかとも思うんですよね。

029：異世界の名無しさん

カニロボットっていうのは？

それもブラックボックスっぽいけど

030：1

全長六メートルくらいで、四本足でハサミが二本ついてて前に進むロボットです。

だから厳密にはカニじゃないですね。カニ歩きもできるけど。

俺はカニロボに乗れなくて、俺の生徒たちだけ乗れます。  
何故かはわかりません。

生徒たちは頭の中に操縦方法が入っていて自然に動かせた、って言ってます。  
ティラノサウルスみたいな奴が襲ってきたとき、簡単に倒してました。

031：異世界の名無しさん

ティラノサウルスwwwwww

032：異世界の名無しさん

恐竜がいる世界なのか……たまげたなあ

033：異世界の名無しさん

ティラノサウルスkws k

034：1

ティラノサウルス、というのも俺たちが勝手につけた名前です。  
けっこう似てたので。

ただ翼が生えてて、全身に灰色の毛があつて、空を飛んで襲ってきました。

035：異世界の名無しさん

空飛ぶテイラノサウルスか……見てみたかったな……

036：異世界の名無しさん

イツチ、次にテイラノサウルスと戦うときはカメラ投稿機能を使って是非とも見てみたい

037：異世界の名無しさん

俺も見たい

あとイツチの生徒についてもk w s k

038：異世界の名無しさん

JKですか？ JKですよね？ JKください

カメラ機能でJKを映してください

039：異世界の名無しさん

おまわりさんこっちです

040：異世界の名無しさん

映さなくていいぞ

041：1

うちの子たちは俺が守る！

だから俺の顔だけで勘弁してください……。。

あとうちの子は全員女の子で、小学生と中学生です。

最初は勉強できなかったんだけどね。

教えているうちにだんだん成績が上がってきてね。

先生、先生って懐いてくれてね。

042：異世界の名無しさん

先生、JSください！



043：異世界の名無しさん

J Cください！

044：異世界の名無しさん

おまわりさんほんどこつち来て

045：異世界の名無しさん

異世界を股にかけるおまわりさんなんていないんだよなあ

そもそもうちの世界だとJ Cから合法だわ

つーか十三歳で成人だわ

046：1

絶対にあげません。

ええと、一応四人についても説明しますね。

A子、中学三年生、得意教科は数学。

B子、中学二年生、得意教科は歴史と英語。

C子、小学六年生、得意教科は算数。

D子、小学六年生、得意教科は国語。

C子とD子は双子の姉妹です。

みんないい子だよ。

でもカニロボに乗れるのはこの子たちだけなんだ……。

「先生のこととはわたしたちが守るよ」

って言われちゃって……。

047：異世界の名無しさん

それは辛いな。

今後の見通しが立たないこともあるけど、自分が何もできないことの方がイッチの大きい悩みなのかな。

ところでカニロボは何体あるの？

048：1

おあつらえ向きに四体あります。

俺たち五人は船の中にあるカプセルで目覚めました。

その直前まで、塾にいたはずなんですけど。

俺はランドシップの操作をなぜか理解できて、子どもたちはカニロボの操作をなぜか理解していたわけです。

で、直後に空飛ぶティラノサウルスに襲われて、倒したあと移動して、日が暮れる前くらいに城塞都市を見つけて、でも逃げました。

夜になってなぜかスマホが使えるようになって、この掲示板を発見しました。

子どもたちはもう寝てます。

049：異世界の名無しさん

カプセルね……コールドスリープのカプセルみたいなやつかな？

050：異世界の名無しさん

そっちは夜か

ところで月は出ている？

051：1

出てますね。

あ、月が三つあります。

うわあ、本当に異世界なんですわ……。。

052：異世界の名無しさん

月が三つか

やっぱり魔力が高い世界っぽいな

053：異世界の名無しさん

そうなの？

054：異世界の名無しさん

MTLの研究者によると月の数が多いほど世界の内包魔力は高くなる

イツチの世界は最低三つあるわけで、各世界の平均衛星数が1.7であることを考えるとこれはかなり大きな数字

もしかしたら今日は三つしか月が出ていない、という可能性もあるわけだぶんランドシップとかカニロボも魔力で動いてるんだろうな

055：異世界の名無しさん

そうなのか

勉強になる

056：異世界の名無しさん

ためになるな

057：異世界の名無しさん

全然知らなかった

058：異世界の名無しさん

そもそもティラノサウルスが飛ぶ世界だしな

魔力でもないど飛べないだろ、あんなでっかいもの

059：異世界の名無しさん

それを倒しちゃうんだからカニロボもかなりの性能だよな

ティラノサウルスっていうからには全長十メートルくらいあるんだろう

それを全長六メートルのロボットで倒すんでしょ

060：異世界の名無しさん

カニビームとが出るのかな

061：1

あ、ハサミから虹色のビーム出していました

ティラノサウルスの翼を焼き落としてました

めちやくちや痛そうでした

062：異世界の名無しさん

カニビーム、出るのか……

063：異世界の名無しさん

虹色つてことはプリズムシャドウ系の魔法かな

やっぱり最低でもMTL9以上の文明産だな、カニロボ

064：1

それで、子どもたちが寝ているうちに明日の方針を決めたいんです。どうするのが一番いいでしょうか。

城塞都市に行ってみるべきでしょうか。

現地人とコンタクトを取るべきでしょうか。

周囲を偵察してみるべきでしょうか。

065：異世界の名無しさん

偵察一択じゃない？

066：異世界の名無しさん

俺もそう思う

まず情報を集める

接触はそれから

067：異世界の名無しさん

理想は人が多い都市じゃなくて、もっと人が少ない村とか孤立した集落

そもそも現地人と会話が通じるかもわからない

都市に近づくのは早計

068：異世界の名無しさん

そうそう、交渉は有利な立場か、最低でも対等な立場ですもの  
今の状態でイツチが出ていっても身ぐるみ剥がれるだけでしょ  
あるいは相手が力づくできて、戦闘になるか

069：1

できれば子どもたちには戦わせたくないです。

ましてや人が相手なんて……。

070：異世界の名無しさん

だよな

教え子に人殺しなんてさせたくないよな

071：異世界の名無しさん

わかる



でもイツチのいるところが並外れて平和な世界じゃないなら、いつかは……

072 : 1

いつかは、そうかもしれない

でも今じゃなくてもいいでしょう？

073 : 異世界の名無しさん

イツチは優しいな

わかった、俺らでもうちよつと知恵を絞り出そう

徹夜でつき合ってやるよ

074 : 異世界の名無しさん

俺はいいけど

今日は仕事ないし……

075 : 異世界の名無しさん

俺もいいぞ

どうせ牢屋にぶちこまれてるし……

076：異世界の名無しさん

ナチュラルに犯罪者がいるな？

077：75

ちよつと姫様に夜這いをかけたただけなのに……

078：異世界の名無しさん

むしろそれでよく殺されなかつたな

079：ロボ博士

TLスレから来ました

面白そうな世界ですね、力になれば幸いです

080：異世界の名無しさん

おつ、援軍も到着か

081：異世界の名無しさん

ところでイツチ、他に悩みとかあつたら今のうちに言つとき？

081：1

ありがとうございます！

実は、もうひとつあつて……

俺、こつちの世界に来てから何故か、男から女になってました

082：異世界の名無しさん

TSかよ！　そういうことは先に言え！

# 月はいくつ出ている？

189 : 1

皆さん、一昨日はありがとうございました。

あと昨日はスレに来られてなくてごめんなさい。

いろいろあつて、寝不足なのもあつて、スレを見る前に寝落ちしてしまいました。

190 : 異世界の名無しさん

ま、しゃーない、しゃーない

191 : 異世界の名無しさん

待つてました

それよりどうなったか教えて

192 : 1

おかげさまで城塞都市から離れて、森の中を川沿いに移動。

森の中にある集落を発見しました。

集落はたまたまティラノサウルスに襲われていたので、カニメカで救助活動を行いました。

そのおかげもあつて集落の人たちと仲良くなることができました。

193：異世界の名無しさん

おー、それはよかった

集落の人たちって、俺らと同じ人間？

194：1

耳が尖つていて、子どもたちがエルフだエルフだつて。

でも話してみたら、普通の人とあんまり変わらないですね。

弓でティラノサウルスを撃つてましたけど、全然効いてないみたいでした。

あ、じかに船を降りて話をしたのは俺だけです。

ここでのアドバイス通り、子どもたちには、カニメカから降りないで警戒して貰っていました。

195：異世界の名無しさん

弓でテイラノサウルスを……そりゃ絶望的だわ

196：異世界の名無しさん

ロボがある文明なのに弓で化け物を狩る奴らもいるのか  
テックレベルどうなってるんだ

197：異世界の名無しさん

ところで、ちゃんと現地人との会話はできたんだね

198：1

はい、何の問題もなく意思疎通ができました。

俺の口から現地の言語がするすると出てくるというか……なんなんでしょうね。

199：異世界の名無しさん

異世界に転移するとき、よくある現象っぽいよ

現地の情報が刷り込まれるというか

200：異世界の名無しさん

深く考察するなら考察スレに行ってみるといい  
頭が痛くなるから

201：異世界の名無しさん

それで、話は聞けた？

ロボットのこととか、都市のこととか

202：1

少しは。

というのは、彼ら、森の人、と呼ばれる都市部とは別の人種らしくてですね。

俺たちのカニロボを見て、「都市の人の巨人だな」くらいしかわからないらしくつ  
て。

テイラノサウルスは現地語で、『喰らうもの』と言うらしいです。

あと、俺の服装（背広）を見て、「古き者の末裔か？」って。

なんでも俺みたいな格好をした人を昔、見たことがあるそうです。

昔、と言っても三百年くらい前らしいですけど。  
あ、彼らは寿命が千年くらいあるそうです。

203：異世界の名無しさん  
寿命が千年……まあエルフだからなあ……

204：異世界の名無しさん  
古き者、か

やっぱり昔はテックレベルが高かったけど今は何らかの原因でテックレベルが下がった、ってパターンかな

205：ロボ博士  
そうじゃないかな

だとすると、ますますランドシップは秘匿した方がいいね  
特に食料プラントはマズい

一昨日聞いたスペックから判断するに、国家戦略レベルのシロモノだ



2006：異世界の名無しさん

あ、博士だ

やっぱりマズいよなあ、あれ

一日に五百人分の食料をゴミから生産できるんでしょ

しかも質を落とせば数倍まで可能って……

2007：異世界の名無しさん

うちの世界、寒冷期の食料の奪い合いで人口が半減したからな

ほんの五十年前のことだそうだけど、おかげで今も国家間の憎しみあい  
で戦禍まっしぐらよ

餓死は辛いぞ、奪われる前に奪え、って言い伝えがめちやくちや残ってる

2008：異世界の名無しさん

食料なんて余裕がある世界の方が珍しいからな

2009：異世界の名無しさん

うちの世界は食料が余ってるよ

まあソ○レントグリーンなんですけどね……  
デイストピア世界は辛いです……

210：異世界の名無しさん

現地人のエルフさんたち、どういう暮らしをしているの？

211：1

木の太い枝に家が建っていましたね。

木々にロープと橋を張って、樹上を歩き来するみたいです。

森の動物を警戒しているみたいでしたね。

でもティラノサウルスにはそんなの無駄で、今年は十人くらい食われたって言うてました。

北の方から百年に一度くらいティラノサウルスが来るそうなんですけど、今年だけでもう三体も来たって。

212：異世界の名無しさん

うへえ、それって……

212：異世界の名無しさん

何らかの異常が起こってるよな

たぶん北の方で

213：1

はい、でも北の探索に行った人たちはひとりも戻って来なかったそうです。

とりあえず、彼らが言うには、報酬を出すからしばらく滞在して守って欲しいと……。どうするべきでしょうか。

214：異世界の名無しさん

期限を区切つての護衛なら、いいんじゃない

ただ子どもたちともちゃんと話し合った方がいいとは思う

215：1

うちの子たちは、「先生がいいなら」って。

ただ、やっぱり現地人と接触させない方がいいですよ。

216：異世界の名無しさん

うん、子どもたちにとっては息苦しいだろうけど、やめた方がいい  
現地のことをちゃんと理解するまでは気を許すべきじゃない

217：ロボ博士

わたしもしばらく駐留には賛成

カニメカとランドシップについていろいろ知りたいし

実験する絶好の機会でしょ

あとで実験項目のリスト張るね

218：異世界の名無しさん

まだ決まってるのにイッチに実験させる気まんまんじゃん

219：異世界の名無しさん

さすが博士

自分の欲望に正直だ

220：異世界の名無しさん

こういう大人になってはいけない

221：ロボ博士

失礼な

純粹に学問的な探求心だよ

それに、そっちの世界についても調査が必要だろう？

222：異世界の名無しさん

それはそう

結局、月はいくつあるの？

223：1

あ、それは現地の人たちに聞きました  
七つあるそうです

224 : 異世界の名無しさん

七つ!?

あっ……

225 : 異世界の名無しさん

やべーわ

226 : 異世界の名無しさん

これは……

227 : 異世界の名無しさん

間違いなく、内包魔力極大世界ですね

## 大事なことは最初に報告

319：異世界の名無しさん

イツチの世界について、ここ数日でわかったこと

・月は7つで、世界内包魔力はこれまで観測された世界でも最大級

・この世界の人類文明は一度崩壊している

・崩壊前の魔法文明レベルは少なく見積もっても10（ナノ魔法マシンと惑星外航行）

・ひよつとすると12（魔法による星系外脱出）かも

・イツチのランドシップとカニロボは、この遺失文明技術（推測）

・現在の人類もカニロボに準じるロボットを使っているが、自前でこれを造れるかは怪しい

・テイラノサウルスとかは遺失文明が造った魔獣

・エルフのような亜人は人類文明から虐げられている（？）

320：異世界の名無しさん

エルフが虐げられているかどうかはまだわからないぞ

ただ森から出ないだけだ

イツチは普通に受け入れられているみたいだし

321：異世界の名無しさん

でも交易したりはしてないんだよなあ

言語の問題はなさそうなのに

そのへんが謎

322：異世界の名無しさん

長生きのエルフさんたちが、生まれてから一度も森から出ていないらしいからね……

323：異世界の名無しさん

樹上で生活していると、身を隠すものがない、猛獣から逃げる術もない荒野が怖いのはわかる

324：ロボ博士

森の中は魔力が濃いんだよ



昨日の検証の結果判明した

おおよそ荒野の三倍だな

エルフの長命の理由もそこにあるかもしれない

325：異世界の名無しさん

博士きた！

326：異世界の名無しさん

え、博士、データ分析もう終わったの

327：ロボ博士

徹夜で、さつきね

実に興味深い

森の外のデータが初日のログから取り出したものしかないのが残念だ  
できればもう一度、今度は荒野の複数個所で観測を行って欲しいな

328：異世界の名無しさん

昨日はイツチめちやくちやくき使つてたよね……

まあ、それで有益な結果が得られたならいいことだけど

329 : 1

博士さん、お疲れさまです!

追加の観測ですか……余裕ができたなら考えますね……。

330 : ロボ博士

そうしてくれたまえ

データについてはあとで共有しておく

今は寝る

331 : 1

あ、はい。

ありがとうございます!

そういえば、みなさん。

少しご相談したいことがあるんですけど、いいでしょうか。

332：異世界の名無しさん

何でも言ってみて

俺らに相談したからって解決するとは限らないけど

333：異世界の名無しさん

相談するだけで心が軽くなることもあるしね

334：異世界の名無しさん

相談したことで自分のなかで整理がつくこともあるしな

335：1

こつちの世界に来て一週間経つんですけど……。

つまり女性になって一週間なんですけど……。

教え子たちが、やたら一緒にお風呂に入ろうとするんですよ。

それに、勝手に俺のベッドに潜り込んでくるし……。

女性同士ってこんなにスキンシップを求めるものなんでしょうか。

336 : 異世界の名無しさん  
あ……

337 : 異世界の名無しさん  
あつ (察し)

338 : 異世界の名無しさん  
これは……?

339 : 異世界の名無しさん  
百合の花が咲く?

340 : 異世界の名無しさん  
まあ、親から切り離されて心身不安定だろうしな

341 : 異世界の名無しさん

知り合いは誰もいない

頼れるのは先生だけ

何も起きないはずはなく……

342：異世界の名無しさん

ちなみに四人ともなの？

336：1

四人でベッドに忍び込む順番を決めてるみたいで……。

お風呂は、一応俺はまだ男のつもりだから、って断ったんですけど。だつたら一緒に寝るのはいいよね？ って追いつめられて。

337：異世界の名無しさん

完全に計画的犯行ですわ

338：異世界の名無しさん

策士がいるな……？

339：異世界の名無しさん

既成事実をつくって、少しずつ間合いを詰める

これは強い打ち手がありますね

340：異世界の名無しさん

交渉のプロの気配を感じる

341：異世界の名無しさん

別にイツチが堕ちてしまえばいいのでは？

342：異世界の名無しさん

それはそう

343：異世界の名無しさん

でも相手はJCとJSだろ？

344：異世界の名無しさん

何か問題が？

345：異世界の名無しさん

問題は……ないな？（成人年齢10歳世界観）

346：1

問題だらけですよ！

だいたい、そのうちのひとりは俺の妹なんです！

347：異世界の名無しさん

うん？

348：異世界の名無しさん

は？

妹？

349：異世界の名無しさん

待て

待て待て待て

350：異世界の名無しさん

イツチさあ……

重要なことは最初に報告するって学校で習わなかった？



## 夜の森

452：異世界の名無しさん

まとめよう

・ イッチと一緒に異世界に転移した生徒のうち中三の子は義理の妹

・ 以前から妹はイッチにアプローチをかけていた様子がある

・ イッチはそのへんに気づかないフリをしていた

・ 他の生徒も、妹にそそのかされてイッチにアプローチしていた模様

453：異世界の名無しさん

それなんてエロゲ

454：異世界の名無しさん

イッチさあ……

455：異世界の名無しさん

妹さんからすると、異世界に来て今こそチャンスって感じだったか……

456：異世界の名無しさん

でも今のイツチは女なんですよ

457：異世界の名無しさん

結ばれるなら別に兄が女でもいいや、って思っちゃったか……

458：1

いや、妹も寂しいだけだと思うんですよ。

他の子たちも、不安で仕方がないんです、きつと。

459：異世界の名無しさん

>>1がそう思うんなら、そうなんだろう

イツチのなかではな

460：異世界の名無しさん

で、結局、手は出したの？

461:1

出しませんよ！

今も俺のベッドで四人仲良く眠っています。

462:異世界の名無しさん

イツチは？

463:1

ちよつと外を散歩しています。

今日は月が六つも出ていますね。

いい夜です。

464:異世界の名無しさん

イツチも異世界に順応しつつあるな……

465：異世界の名無しさん

いいことだ

どうせ帰れない

466：異世界の名無しさん

俺らいろいろな異世界に飛ばされたけど、地球に戻れたって報告は聞いたことない  
な

467：異世界の名無しさん

そもそも地球に戻ったら報告できないのでは？

この掲示板ネットワークから外れるのでは？

468：異世界の名無しさん

そのへんはわからないけど、可能性のある魔法や理論すらガセばっかりだしなあ

469：異世界の名無しさん

地球帰還方法検証スレもすっかり過疎っちゃった

かくいう俺も、とうに諦めた

470：異世界の名無しさん

こつちの世界で大切なものが出来ちゃったよ

今は息子と娘の笑顔が一番の宝物さ

471：異世界の名無しさん

俺の世界、環境が最悪なので、地球じゃなくても別の世界に行きたい  
別の世界に移動する方法自体はいろいろあるよね

俺は使えないけど

472：異世界の名無しさん

平行世界移動論スレを見る限り、ある程度の理論は確立されている  
問題は世界の壁を越えるエネルギーだな

それさえあれば、あとは技術の問題だ

473：1

エネルギーの問題……ですか。  
ひよつとして、俺たちの船なら……。

474：ロボ博士

理論上は可能だと思うよ

>>1のランドシップの炉心は、下手に暴走したら核爆発の比じゃないエネルギーを放出するだろう

475：異世界の名無しさん

あ、博士だ

476：1

暴走したら俺も死んじゃいますよね？

あと、理論上は、つてことは実質不可能ってことでは？

まあ、地球に戻れないなら今のところいいです……。

この子たちの安全が第一です。

477：異世界の名無しさん

安全第一は、本当にそう

イツチの場合、ランドシップがないとカニロボのバッテリーも補充できないみたいだし

478：異世界の名無しさん

カニロボのバッテリーは歩行だけでおよそ八時間、戦闘すれば三十分で切れるんだっけ

ランドシップなしじゃ心もとないよね

479：ロボ博士

予備バッテリーを増槽することはできるみたいだけどね

背中のハードポイント二個に予備バッテリーを装填しても二十四時間の歩行が限界だろう

480：1

博士が見つけてくれた戦闘中のバッテリー交換システムのおかげで、連戦になっても

なんとかなりそうです。

本当にありがとうございます！

481：異世界の名無しさん

機体の検証が早々に進んで本当によかった

482：異世界の名無しさん

博士はまだまだ検証したいみたいだけどな

483：異世界の名無しさん

今日はずっとイツチの妹さんの話題ばかりだったから……

484：ロボ博士

子どもたちのメンタルケアはわたしの仕事じゃないからね

そちらはこのスレの他の住人に任せる

私見を披露すれば、妹だろうが幼体だろうがロボットを上手く動かせるなら問題ないだろう？



彼女たちの献身に報いることで性能を引き出せるなら、より効率的ではないかね

485：異世界の名無しさん

博士は妹さんたちがへそを曲げたら検証作業が進まなくなすることを懸念しておられる

486：異世界の名無しさん

イツチにはカニロボを動かせないからな……

イツチはパイロット四人のご機嫌を全力で取るべきだよな……

487：異世界の名無しさん

状況は深刻だよね

わりと冗談では済まない

488：異世界の名無しさん

だからイツチが彼女たちを受け入れてやるのが一番のメンタルケアですよ

489 : 1

あつ、まずつ。

490 : 異世界の名無しさん

うん？

491 : 異世界の名無しさん

ほむ？

492 : 異世界の名無しさん

おい

イツチ、どうした

493 : 1

すみません。

散歩中に、現地人に襲われました。

494：異世界の名無しさん  
は？

495：異世界の名無しさん  
なにごと？

496：異世界の名無しさん  
エルフの裏切り？

497：異世界の名無しさん  
イツチには友好的なんじゃないっけ？

498：異世界の名無しさん  
イツチたちがエルフを助けたんでしょ  
どういうことなの？

499：異世界の名無しさん

とりあえず今はイッチの安全が第一  
ここ見られるってことは大丈夫なの？

500：1

あ、はい。

今は小屋の中に押しこめられています。

どうも村長に反対する一派の仕業みたいで、俺に言うことをきかせればカニロボを自由操れると思っっているようです。

501：異世界の名無しさん

自由に操れる……？

502：異世界の名無しさん

あつ、もしかして

生徒さんたちはエルフの前に一度も姿を現してないんだよね

503：異世界の名無しさん

あー、そういうこと

カニロボはイツチの指示に従順に聞くメカ……ゴーレム？  
ちやっただね  
みたいなものだと思います

504：異世界の名無しさん

イツチの指示に従順なのは確かなんだよなあ

505：異世界の名無しさん

なお夜這いはかける模様

506：異世界の名無しさん

でもこれ、まずくない？

生徒さんたち知ったら怒り狂うでしょ

507：異世界の名無しさん

あつ

## エルフの謝罪

709 : 1

昨夜は本当にありがとうございました。

みなさんの機転のおかげで命拾いしました。

710 : 異世界の名無しさん

大事にならなくてよかった

711 : 異世界の名無しさん

大事にならない(揉めないとは言っていない)

712 : 異世界の名無しさん

イツチを誘拐なんてしたら揉めるにきまつてるんだよなあ

713 : 異世界の名無しさん

「このアドバイス通り反村長派の穏健派を切り崩して脱出したところまでは聞いたけど」

「そのあとどうなったの？」

714 : 1

「誰の血も流れない方向で決着をつけてもらいました。」

「首謀者一味は謹慎、残りは流されただけで無罪、ですな。」

「ただ、首謀者一味の言っていたことが気になります。」

「テイラノサウルス（の現地での呼び名）はお前たちがけしかけたんだらう」って……。

715 : 異世界の名無しさん

「テイラノサウルスを造ったのは人類じゃないかってスレでも話があったな。」

716 : 異世界の名無しさん

「だとしても文明崩壊前の人類だから、実質別の存在だけだな。」

717 : 異世界の名無しさん

エルフさんには違いがわからんでしよう

718：異世界の名無しさん

だからってイツチに当たられても迷惑だよ

719：異世界の名無しさん

イツチたちは厳密にはこの世界の人類ですらないしな

いや、遺伝子的な相違があるかどうかは、まだわからんけど

720：異世界の名無しさん

イツチの肉体は一応、地球産のはずだしな

721：異世界の名無しさん

本当にそうなのかな……？

ちなみに俺の身体はどう考えても転移時にいろいろ変化してたよ

地球にいた頃は翼なんてなかったし



721:1

翼!?! そういう場合もあるんですね。

で、今ですけど、ちよつと困ってるんです。

聞いてください。

監禁されました。うちの子たちに。

722:異世界の名無しさん

イツチ監禁事件第二弾 w w w w w w w

723:異世界の名無しさん

今度は生徒さんたちが首謀者かあ

724:異世界の名無しさん

心配させるから……

725:異世界の名無しさん

放っておくと誘拐されるくらいなら監禁しておけばいい

実にスマートな解決方法だね

726：異世界の名無しさん

スマート？ スマートの定義とは？

727：1

厳密には、この部屋って外側から鍵をかけられないので、風呂トイレの時以外部屋から出るな、って言われてるだけなんですけど。

でも外には必ずひとり見張りが立っています。

あと、無理に出ようとすると泣かれます。

きつい。

728：異世界の名無しさん

泣かれるのはきついな……。

729：異世界の名無しさん

ちなみに妹さんは？

730 : 1

監禁から解放されたあと、めちやくちや泣かれました

「もう絶対、兄さんをひとりにしません」

つて赤くなつた目で宣言されました。

731 : 異世界の名無しさん

はいヤンデレ一丁入りました

732 : 異世界の名無しさん

これに関してはイツチの自業自得なんだよなあ

733 : 異世界の名無しさん

夜、ひとりで外を歩いていたのは言い逃れできない迂闊なんだよなあ

734 : 異世界の名無しさん

本当に悪いのは誘拐した方なんですけどね

735：異世界の名無しさん

それはそう

悪いのは痴漢であって破廉恥な恰好をする方じゃないのと一緒に

736：異世界の名無しさん

つていうかこのままエルフさんとの協力関係は続けるんだね

737：異世界の名無しさん

お人よしすぎるとカモられない？ 大丈夫？

738：1

今回の謝罪として、村長が古文書を持ってきてくれたんですよ。

獣の皮に書かれた文書の束で、村長たちにも読めないそうです。

今、船が解読してくれています。

この古文書で手打ちにする、つてことになりました。

739：異世界の名無しさん  
そんなものでいいの？

もつというろいろ強請れない？

740：異世界の名無しさん  
強請ったところで、イツチが欲しいものなんてないんじゃない？

741：異世界の名無しさん  
女奴隷とか……

742：異世界の名無しさん  
慰安用の女とか……

743：異世界の名無しさん  
イツチの生徒さんたちの目が怖いでしょ

744：異世界の名無しさん

大丈夫？ イッチが刺されない？

745：異世界の名無しさん

そもそも今、イッチは女な件

746：異世界の名無しさん

そういえばそうだった

747：異世界の名無しさん

男の人は男の人同士、女の子は女の子同士で恋愛すればいいと思うの

748：異世界の名無しさん

イッチの好みの問題もあるよ

大人の女性が好きなら生徒さんたちはアウトだろうし

ひよつとしたら男が好きかもしれないし

749：1

一応宣言しておく、今の俺でも女性の方が好みですね。でも生徒たちを対象にするのはナシです。ところで、あの子たちをどうすれば宥められますかね？

750：異世界の名無しさん

イッチが抱く

そして動画をここに投稿する

751：異世界の名無しさん

イッチが大人にしてやる

そして動画をここに投稿する

752：異世界の名無しさん

イッチがめくるめく夜の世界に連れていく

そして動画をここに投稿する

753：異世界の名無しさん

即レスする奴らの欲望がすごい

754：異世界の名無しさん

自分に正直な頼りになる奴らだけ

755：異世界の名無しさん

本当に頼りになるか……？

いや昨夜はうまく現地人を言いくるめる方法をぼんぼん提案してたな

756：異世界の名無しさん

そうそう、俺らに任せておけば大丈夫  
だから動画を

757：1

昨日は本当にありがとうございました。  
しばらく掲示板を見ないでおきますね。



758：異世界の名無しさん

待って、待ってイツチ！

嘘、嘘だから！ 博士に怒られる！

## 妹の話

兄さんと塾の子たちと異世界に漂流して、半月が経過した。

厳密には十六日だ。

よく考えたらこの世界の月の満ち欠けがもとの世界と同じかどうかは不明だし、そもそも月は七つもある。

兄さんは相変わらず呑気だ。

耳が長い現地人と直接、交流したがる。

この前、誘拐されて危うく殺されるところだったのに。

やっぱり、わたしたちでしつかりと兄さんを見張るべきなのだろう。

兄さんに危険が及ばないように。

兄さんが出ていったりしないように。

わたしも、三人の仲間たちも、みんな兄さんがいないと駄目なんだから。

兄さんは「自分は役に立てない」と言うけれど、そんなことはない。

兄さんがそこにいるだけで、わたしたちがどれだけ安心するか、てんでわかっていないのだ。

まあ、さつきから兄さん、兄さんと言っているけど。

今の兄さんは女性である。

こつちの世界に来るとき、なぜか性転換していた。

別に構わない。

兄さんが女性でも、わたしの大切な兄さんであることにはかわりない。

むしろ以前よりスキンシップをしやすくなったし、べたべた触つても嫌がられなくなった。

添い寝してもOKになったし、抱きついて匂いを嗅いでもちよつとなら大丈夫。

いっしょにお風呂に入ろうと言ったらさすがにダメ出しされたけど。

でも、もうちよつと押していけばイケそうな気がする。

昔から兄さんはわたしが押していくと、しぶしぶながらも許してくれるから。

愛犬が死んだときも、一か月くらい、いっしょのベッドで寝てくれたし。

兄さんの塾に通つて兄さんに教えてもらうことも承諾してくれたし。

塾の仲間たちといっしょに兄さんのアパートに入り浸ることもなし崩し的にOKになったし。

合鍵も持たせてくれた。

お泊りは、中学生になってから、どれだけねだつても駄目だったけど。

兄さんのパソコンのパスワード……は勝手に調べたんだった。

これは内緒にしておかないと。

うん、わたしは兄さんのどんな性癖も受け入れられるから。

「先生は、またスマホ仲間さんたちとお話をしています」

ミナちゃんが言う。

わたしのひとつ下、中学二年生で、でも英語の苦手なわたしと違って英語べらべら、ついでにフランス語までべらべらの帰国子女。

金髪碧眼の美人さんで、背もわたしよりちよつと高いし、ついでにおっぱいもわたしよりある。

腰まである髪をストレートにしている、前髪は眉のところまで切り揃えている。

以前、「先生はこういうのが好きそうだから」と言っていた。

うん、その推理は合っていると思うよ……パソコンの中身から推察するに。

本当なら、わたしはミナちゃんに嫉妬するべきなんだろうけど。

この子は頭がいいくせに、やけに人なつっこく、わたしに全幅の信頼を寄せてくる。

だからあんまり邪険にできない……というかこの子にお願いされると絶対に応えてあげないとして気にさせられてしまう。

で、この子ったら「先生をお慕いしてもよろしいのでしょうか」と言うものだから

……。

妹としては、駄目、なんて言えない。

でも兄さんをこの子に取られるのは……嫌だよう。

って感じの雰囲気かわたしからめちやくちや出ていたのだろう。

ミナちゃんはそのとき、ぽんと手を叩いてこう言ったのだ。

「では、わたしたちふたりで、先生をお慕いいたしましょう」と。

そのときは名案だと思った。

それで、ええと……。

彼女は軟禁状態の先生の部屋をときどき覗いて、兄さんの状況を報告してくれている。

またふらふらと外に出られたら、たまらないものね。

兄さんのスマホは別の異世界と繋がっていて、そこでわたしたちと同じように異世界に飛ばされた日本人たちと交信できるようになったらしい。

でもわたしたちがそのスマホの画面を見ても、なにも映っていない。

最初は、兄さんがおかしくなったのかと思った。

兄さんが女性になった直後だったし。

そうじゃないとわかったのは、実際にスマホを通じてデータをやりとりした結果、わたしたちの乗っている船の性能やカニロボの性能が明らかに変わったから。

兄さんはスマホの画面ごしになんらかの交信をしている。

それには兄さんの知らなかった情報が含まれている以上、心の病とかそういうものはありえない。

彼らが本当に味方なのかはわからないし、彼らのアドバイスの的確かどうかも定かではないけど、ここまで一定以上の有益さがあつたことは事実。

なら兄さんには、彼らとの交流を進めてもらうべきだろう。

少なくとも、あの危険な耳長と接触するよりは安全なはずだ。

ああもう……耳長たちが兄さんを少しでも傷つけていたなら、きつと今ごろ、わたしたちは彼らを滅ぼしていたよ……。

ミナちゃんは止めようとしただろうけど、年下のふたりはわたしよりずっと怒っていたし、きつと率先して行動したに違いない。

というか兄さんが行方不明になったと気づいた時点で激昂していた。

兄さんが帰ってきた後も、彼らと手を切るべきだと主張していたのは小学生組である。

兄さんが懸命に宥めていた。

あの耳長たちは、兄さんの温情に心から感謝するべきだ。



今、わたしがいるのは船の艦橋。

わたしたちが船と呼んでいる存在は、カニメカを四機積んだ陸上を少し浮いて走るホバークラフトだ。

たぶんわたしたちの世界には存在しないほど巨大で、全長が学校の校庭に収まらないくらいある。

高さは三階建ての校舎くらいで、四層構造。

わたしのいる艦橋は、そのうち最上階にある。

カニメカのある最下層への直通エレベーターが存在するため、わたしたちはなにかあると、とりあえず艦橋に集まることになっていた。

実際のところ、この耳長の村にやってきてからは、なにかあったことなんて先生が捕まったときと……。

あ、一昨日、ティラノサウルスが二体、襲ってきたか。

それくらいなんだけどね。

ちなみにテイラノサウルスは空を飛んでやってきたので、遠くからでもよく見えた。ミナちゃんがかニロボで狙撃して一体を撃ち落とし、もう一体は双子のかニロボが飛びかかって始末した。

わたしは見てただけ。

なんか、戦うごとにみんなのかニロボへの習熟度というか、慣れが加速度的に増している気がする。

普段温厚なミナちゃんも、戦うことにはなんのためらいもないみたいだ。

むしろ最近、よくシミュレーションを立ち上げて狙撃の練習をしているくらい。

こちらの世界に来て、こちらの世界の言葉をなんの苦もなく読み書きできるようになっていた。

なぜかこの船やかニロボを操作できるようになっていた。

ぶっつけ本番でテイラノサウルスと戦うことができたくらいに。

気味が悪い。

でもこの力を使わないと、わたしたちは未知だらけのこの世界で生き残ることができない。

使わない、という選択肢はない。

この艦橋には五つの椅子がある。



ひとつはわたしたちが艦長席と呼ぶ、全機能が集中したデスクがある席。

ひとつが操縦席と呼ぶ、二本のレバーと無数のパネルでこの船を操作できる席。

ひとつは船内の隔壁を操作したり内外の状況を映すモニタを切り替えられる席。

ひとつは船を統括する頭脳、たぶんAIみたいな存在とのやりとりをする席。

ひとつはパッシブ・アクティブ両方のレーダーや船外カメラをチェックできる席。

どの席も、背もたれと柔らかいクッションがついていて、座り心地がいい。

座ると少し沈み込んで、黒い布地がわたしたちの身体を包む。

長い時間座っていても身体が疲れないのは、この座席を形成する未知の素材のおかげだろう。

有事には兄さんが艦長席に座り、残りの席でやることを全部艦長席でやってしまう。

わたしたちはカニロボに乗って出撃する。

でもこういう平時には、こうしてわたしたちが艦長席以外の席に座って、そのとき必要なことをする。

わたしが今やっているのは、耳長が保存していた文書の翻訳だ。

船のAIみたいな存在がくねくねした文字をスキャンして解析している。

この船で使われている言語は明らかに日本語じゃないけれど、わたしたちは何故か船の言語を自在に扱える。

耳長たちの言葉もわかるし、口を開けば耳長たちの言葉が自然に出てくる。

でもこの耳長文書の言語はさっぱりなのだった。

どうしてなのか。

それはこの文書を解読できればわかるのだろうか。

ずっと過去に書かれたものであるらしいこれには、いったいどんな秘密があるのだろうか。

さつき、一部だけが解読されたようで、AIが単語らしきものをいくつか出力した。

モニタに映る文字は、以下の通り。

「天の炎、厄災の獣、封鎖、モディアラコン？ 最後のは固有名詞でしょうか」

ミナちゃんやんがAI席に座るわたしの横からひよっこりと覗き込み、小首をかしげる。

顔がくつつきそうなくらい近い。

彼女の豊満なおっぱいはわたしの肩で潰れている。

くうっ、格差が憎い。

兄さんがミナちゃんやんの胸もとをちらちら見してしまうのも無理はない。

いや、今それはいいんだ。

「不吉な言葉が並んでいるわね」

「厄災の獣、とはテイラノサウルスさんのことではありませんか」

「あの程度の奴、厄災、なんて言われるかなあ」

ミナちゃんの言葉にそう反論する。

だって、ミナちゃんの狙撃で一撃だよ、一撃。

でも、うーん、そうなるとテイラノサウルスなんて比じゃない奴がいるってことになるし……。

これ考えたら駄目なやつかもしれない。

「とりあえず、兄さんに報告しようか」

この船内でだけ使える備品のタブレットに結果をコピーして、席を立つ。

ミナちゃんが操縦席をいじって、船を自動監視モードに変更した。

これでなにかあつたら勝手に警報が鳴る。

「そういえば」

と思ひ出したようにミナちゃんが言った。

「この船、そもそもこの文書の言語がわからなかったんですね。この船自体が、文書をつくった方にとって敵側だったのでは……？」

あー、その可能性はあるか。

となると……。

わたしはカニロボのハサミから出るビームを思い出す。

ブースターをつけてあれを撃つたことは、まだ一度もないのだけれど……。  
「天の炎、ねえ……」

今のところ、そこまで考えても仕方がないか。  
わたしは首を振って、A I席に背を向けた。

# 旅立ち

# ————— 7

塾講師と四人の教え子の異世界漂流、2スレ目

001:1

塾講師と四人の教え子の異世界漂流、2スレ目です。

またよろしく願います。

002:異世界の名無しさん

いちおうテンプレみたいなものつくった

・イツチの転移した先は月が七つの魔力極大世界

・イツチは男から女になった、教え子たちは全員もとから女性、ひとりはイツチの妹

(J C 3)

・イツチたちは船とカニロボ×4を所持、ただしイツチだけカニロボを使えない

・過去、高度な魔法文明があったけど崩壊、現在の人類は魔法で動くロボを役？(情

報が少ない)

・イツチたちは森のエルフ集落に滞在、現在は友好的な模様  
こんな感じ？

004：異世界の名無しさん

そんな感じじゃない？

005：異世界の名無しさん

あれからまた数日経ったし、なにか変わったかもしれないけど

006：1

あ、はい、少し変わりました。

今、船は集落から離れて森を北上中です。

007：異世界の名無しさん

それは少しじゃない

008：異世界の名無しさん  
だいぶ大きな出来事なんだが？

009：異世界の名無しさん  
イツチさあ……

010：異世界の名無しさん  
ついにエルフを見捨てたか……

011：異世界の名無しさん  
まあ、これ以上滞在しても利益を得られたかどうか怪しいしな  
切り捨てるのもしゃあなし

012：異世界の名無しさん  
エルフ謎文書の解読は進んだの？

013：異世界の名無しさん

ああ、それがあつたか

014:1

エルフさんたちを見捨ててはいません。

テイラノサウルスが飛んでくる方角は毎回、同じ北の方角なんです。

今はそつちに向かつていて、都度、向かつてくるテイラノサウルスを叩いてます。

どうして飛んでくるのかわかれば、いつまでも彼らが不安に怯えることもなくなるかなど。

015:異世界の名無しさん

あ、積極的な攻勢に出たわけね

てつきり妹さんに説得されて、エルフを切ったものとはかり

016:異世界の名無しさん

妹さん、エルフに対して辛辣だったもんな

017:異世界の名無しさん



自分の大好きなお兄さんが殺されそうになったんだ、当然

018：異世界の名無しさん

温厚な方の生徒さんも怒ってたらしいからな

黒髪ぱつつの……ミナちゃんだっけ？

019：異世界の名無しさん

そうそう、動画で挨拶してくれたミナちゃん

百回保存しました

家宝にします

020：異世界の名無しさん

ただの「先生がお世話になっている方々に挨拶したい」ってだけでアップされた動画をそこまで!!?

021：異世界の名無しさん

ぱつきやろー、ミナちゃんは清楚ですよ

清楚の象徴

そりやはかどるっていうもの

022：異世界の名無しさん

なにかはかどるんですかねえ

023：異世界の名無しさん

はいこの話題おしまい

イツチの機嫌が悪くなる

024：ロボ博士

あれから進展があつたことを教えて欲しい

025：異世界の名無しさん

博士！

026：異世界の名無しさん

博士きた！

これで勝つる

027：異世界の名無しさん

雑談で繋いで博士の到着を待つ

俺たち、いい仕事したな

028：異世界の名無しさん

スレを無駄に消費しただけでは？

029：1

集落を出発してから一日、北から飛んできたティラノサウルス一体を始末しました。  
例の文書ですが、解説はあれからさっぱり進んでいません。

030：異世界の名無しさん

「天の炎、厄災の獣、封鎖、モディアラコン」  
だっけか

031：異世界の名無しさん  
単語が不吉すぎるんだよなあ

032：異世界の名無しさん  
初見だけどもメディアアラコンってなに？

033：異世界の名無しさん  
わからん

今のところ、どの世界の名詞でもない

034：ロボ博士

兵器の名前なのはほぼ間違いないがね

035：異世界の名無しさん  
え!?

036：異世界の名無しさん

ちよっ

037：異世界の名無しさん  
博士!?

038：異世界の名無しさん  
なんかここままで断言できる情報あった!?

039：ロボ博士

船のAIがそこだけ固有名詞を弾き出したのだろうか？

040：異世界の名無しさん  
あ、そっか

解説途中で固有名詞一個だけを自信を持って出してきたってことは……

041：異世界の名無しさん  
なるほど……

……わからん

042：異世界の名無しさん

どういうことだ？

043：異世界の名無しさん

船のAIに「モディアアラコン」という固有名詞が登録されていたってことでしょ

044：ロボ博士

>>1くん、モディアアラコンという単語の意味をAIに訊ねてみたまえ

045：1

今やってみました。

回答拒否されました。

046：異世界の名無しさん

駄目じゃん

047：異世界の名無しさん

おうふ……

048：異世界の名無しさん

駄目じゃないぞ、重要な情報だぞ

049：異世界の名無しさん

回答拒否、つまり知っているけど教えないぞと……

050：異世界の名無しさん

博士、鋭いな

ロボ関係以外でも

051：異世界の名無しさん

博士、ロボのことにしか興味がないだけで、知識も知恵も俺らのなかでは随一だから

な

あんまりにもロボのことにしか興味を抱かないから嫁さんと子どもに逃げられたと  
かいう噂がある

052：異世界の名無しさん

噂じゃないんだよなあ

ただ事実でもない

053：異世界の名無しさん

え、どういうこと？

054：異世界の名無しさん

逃げられたのは「夫」と子どもだよ

055：異世界の名無しさん

え、博士って女性だったの!?

056：異世界の名無しさん



知らんかった

ちよつと心が浄化された

057：異世界の名無しさん

今の話のどこに浄化要素があつた？

059：ロボ博士

ここはわたしの情報で盛り上がるべきスレではあるまい

さて、今日もいくつか試したいことがあるのだが……構わんかね？

## 恐竜の谷

塾講師と四人の教え子の異世界漂流、2スレ目

112:1

この世界に来て、二十日が経ちました。

みなさんのおかげで無事に生きられています。

この場を借りて、お礼申し上げます。

113:異世界の名無しさん

この場を借りるものにも、ここはイッチのスレなんだぞ

114:異世界の名無しさん

まあお礼は受け取っておいてやろう(尊大)

115:異世界の名無しさん

お礼として妹さんを受け取ってやろう(寛大)

116：異世界の名無しさん

俺はミナちゃんを頂こう（おっぱい）

117：異世界の名無しさん

でも妹さんもミナちゃんもイツチのことが大好きだぞ  
毎日ベッドに潜り込むくらいだぞ

118：異世界の名無しさん

女同士だから合法

119：異世界の名無しさん

法とはなにか？

120：1

それで、テイラノサウルスの巣、みたいな場所を見つけました。

【画像】

121：異世界の名無しさん

目的地か

谷のなかに二十体以上いるな

122：異世界の名無しさん

ここがあの子のハウスね

奥にいるティラノ、でかくない？

123：異世界の名無しさん

でかい

隣との対比で全長が倍くらいある

二十メートルくらいか？

124：異世界の名無しさん

なにこれ、化け物じゃん

125：異世界の名無しさん

もともと化け物なんだよなあ

なんとなくテイラノサウルスって呼んでるけど、そもそもテイラノサウルスは翼が生えてないし空を飛ばない

126：異世界の名無しさん

今、手元でその画像拡大してみたけど、でかいテイラノの後ろに金属のなにかがある赤丸つけたところ

### 【画像】

127：異世界の名無しさん

本当だ、黒い塊

なにこれ

128：異世界の名無しさん

ほとんどデカテイラノの巨体に隠れてるけど、この黒い機械みたいなやつもでかいな

129：異世界の名無しさん

デカティラノ、翼が四枚ない？

これティラノがでかくなつたんじゃないやなくて別種では

130：異世界の名無しさん

今までののはオスで、こいつはメスかもな

131：異世界の名無しさん

メスの方がでかいのか……

自然界ではよくあることだけど

132：異世界の名無しさん

この画像はカニロボで撮影したの？

133：1

ドローンです。

船の倉庫から発掘しました。

船から操作するので、あまり遠くには行けませんけど。

134：異世界の名無しさん

発掘wwwwww

いやでも船のなか、けっこう広いもんな

学校の校舎ひとつ分くらいあるなら、そりゃ搜索しきれないか

135：異世界の名無しさん

ドローンでいろいろな角度から撮影できないかな

もつと情報が欲しい気がする

136：異世界の名無しさん

そうだよね

テイラノだけなら二十体でもなんとかなりそうだけど、デカテイラノは戦力がわからないよね

137：1

そうですよね、俺としては二十体も敵がいると不安なんですけど。とりあえずドローンをもう一回出してみますね。

138：異世界の名無しさん

そりやイツチは不安だよな

自分の教え子たちを送り出すわけだし

139：異世界の名無しさん

船を守りながら戦うよりは強襲の方が楽だと思うけどね

140：異世界の名無しさん

それはそう

でもイツチひとり船に残すのも不安じゃない？

護衛に一機つけると実質三機で戦うことになる

141：異世界の名無しさん

カニロボが空を飛べればなあ



142：異世界の名無しさん

博士が前になんか言ってなかったつけ

形状がどうの

143：ロボ博士

ハードポイントの形状的に飛行ユニットを取りつける余地がある、とは言った

飛行ユニットが船の倉庫にあるかどうかはわからんよ

144：異世界の名無しさん

あ、博士、おつかれさまーっす

145：異世界の名無しさん

ちーっす

倉庫ってどんな感じなんすかねえ

146：1

倉庫の画像です。

【画像】

147：異世界の名無しさん  
うわあ

148：異世界の名無しさん  
なあにこれ……

遠近法が狂ってない？

149：異世界の名無しさん  
すごく……カオスです……

150：異世界の名無しさん  
つか空間が歪んでない？

大丈夫？

151：ロボ博士

明らかに歪んでいるね

みかけ以上に広いはずだ

これは迂闊に入り込むと迷子になるんじゃないか

152：1

うちの子たちが迷子になりました。

双子だけで入り込んで、危うく遭難しかけて、たいへんでしたよ。

153：異世界の名無しさん

船の内部で空間操作しているのか……

さすが推定MTL10以上の技術だぜ

世界破壊爆弾とかあってもおかしくないぞ

154：異世界の名無しさん

マジであつてもおかしくないから困る∨世界破壊爆弾

155：異世界の名無しさん

この倉庫を整理するところから始めるべきだったのでは？（名推理）

156：異世界の名無しさん

それはそう

157：異世界の名無しさん

でも迂闊にへんなもの見つけたらヤバくない？

SANチエック失敗しない？

158：異世界の名無しさん

それもそう

159：異世界の名無しさん

船に武装がないのも、取り外されてこの倉庫に仕舞われているだけなのでは？

160：異世界の名無しさん

それはどうか？

武装があつたら、艦橋で操作できるはずだよね  
痕跡が残つてると思う

161：異世界の名無しさん

そりやそうだ

波動砲でもあればよかったのにね

162：異世界の名無しさん

大気圏内で波動砲を撃つのはやめろ

163：異世界の名無しさん

大量破壊兵器とかガチでありそうで嫌だよ、この倉庫

164：異世界の名無しさん

ほんと、なんなんだろうねイツチたちの船……

## ティラノサウルスの感知能力

塾講師と四人の教え子の異世界漂流、2スレ目

189:1

ドローンで何枚か谷の様子を撮影してきました。

反対側にまわりこもうとしたらデカティラノにドローンが発見されて、ビームで破壊されてしまいました……

【画像】

【画像】

【画像】

【画像】

190:異世界の名無しさん

うわぁ……すごいことになっちゃったぞ

191：異世界の名無しさん  
なあにこれえ

192：異世界の名無しさん  
やばい（やばい）

193：異世界の名無しさん  
最後の一枚、デカティラノの口から虹色のビーム出かかっているよね  
これがドローンを破壊したのか……

194：異世界の名無しさん  
放射熱線かな？

195：異世界の名無しさん  
大丈夫？ 内閣総辞職しない？

196：異世界の名無しさん

背びれは光ってないからセーフ

セーフ……なのかな？

197：異世界の名無しさん

真面目な話をする、敵が遠隔兵器を持つてるのは嫌だよ  
ね  
これまでみたいに一方向的に撃ち落とすことができなくなる

198：異世界の名無しさん

それ以前に、なんで生物がビームを出すんですか？

199：異世界の名無しさん

ゴ○ラだからでは？

200：異世界の名無しさん

昭和時代のリアリティ



201：異世界の名無しさん

二千年代でも超能力者が怪獣と戦ってたし……

202：異世界の名無しさん

そもそも科学じゃなくて魔法だしな

203：異世界の名無しさん

魔法だったらなにをしてもいいって言うんですか！

204：異世界の名無しさん

世界によって魔法理論も違うしな

大枠は同じだったたりするけど

205：異世界の名無しさん

うちの世界の魔物にけっこういるよ、ビーム出す奴

206：異世界の名無しさん

うちの世界にもいるわ

つーか俺もビーム出せるわ

207：異世界の名無しさん

ナカマ、ナカマ（目からビーム）

208：異世界の名無しさん

軽率にビームを出すな

209：異世界の名無しさん

ビームの話ばかりだけど、他の画像も興味深いよね  
特に横から見た画像

デカティラノと後ろの機械、くつついてるでしょこれ

210：異世界の名無しさん

パイプみたいなのが繋がってるね

211：異世界の名無しさん  
生体兵器というか、もはや機械兵器なのでは？

212：異世界の名無しさん  
自然生物がビーム出さないしね

213：異世界の名無しさん  
は？ うちの世界では動物がビーム出すの普通だが？

214：異世界の名無しさん  
その動物は本当に動物ですか？

215：異世界の名無しさん  
魔力が濃いほど普通の生き物にも影響を与えるしな  
イツチ、その場所の魔力濃度を計測できる？

216：異世界の名無しさん

いや、それよりもさ

こいつらと戦う必要がある？

217：異世界の名無しさん

いや、それは……

別じゃないのか？

218：異世界の名無しさん

エルフさんの集落を守るため、だろ？

219：異世界の名無しさん

こいつらがなぜか南に飛んでいくから被害が出るわけでしょ  
南に飛ばせなければいいのでは

220：異世界の名無しさん

それはそう

でもどうやって？

221：異世界の名無しさん

あー、そもそもテイラノどもってエルフを捕食してたんだよね  
森の外で遭遇した個体はどうなんだっけ

222：異世界の名無しさん

船を襲ってきたから反撃した、くらいのはず

223：異世界の名無しさん

なんで船を襲ったんだ？

224：異世界の名無しさん

でかい獲物に見えたのでは？

225：異世界の名無しさん

でかい獲物を喰らうやつが、どうしてエルフなんて小さな獲物をわざわざ狙うんだろ

う

226：異世界の名無しさん  
あつ、それ気になってた

227：異世界の名無しさん  
嘘つけ、今気づいたんだろ

228：異世界の名無しさん  
今気づきました（謝罪）

229：異世界の名無しさん  
つまり、どういうことだってばよ

230：異世界の名無しさん  
わからん

231：ロボ博士

魔力が問題なんじゃないかな

>>>1くんの船は巡行中、魔力が駄々洩れしているんだと思うよ

現地住民のエルフについては検査してみないとわからんが、ある程度の魔力を持つているのではないかね？

232：異世界の名無しさん

博士！

233：異世界の名無しさん

さす博士

それだ！

234：異世界の名無しさん

目のつけどころが違う

235：異世界の名無しさん

テイラノサウルス、魔力感知できるってこと？

236：異世界の名無しさん  
博士の仮説が正しければね

237：異世界の名無しさん  
これまでの情報を総合すれば、そういうことになる

238：異世界の名無しさん  
じゃあランドシツプがティラノの巢の近くにいと速攻で発見されるんじや？

239：異世界の名無しさん  
イツチの魔力計測の結果次第じゃない？

今、船のあるあたりの魔力が濃いなら、木を隠すなら森のなか状態な可能性も

240：異世界の名無しさん  
ティラノは魔力を喰ってるってことなのかな



241：異世界の名無しさん

エルフのなかの魔力を喰う……とかあるのか？

242：異世界の名無しさん

なんもわからん

テイラノの解剖とかしてないよね

243：異世界の名無しさん

カニロボに乗ってるの、JCとJSだぞ、解剖とか無理でしょ

イツチが生身でメスを入れることができると思えん

エルフたちがやるなら……

244：異世界の名無しさん

エルフたちをそこで働かせるべきじゃったか

245：異世界の名無しさん

倒した獣と同じで肉を食べたりしなかったのかな

246：異世界の名無しさん

亀とか蜥蜴みたいなもんだしなあ

247：異世界の名無しさん

亀はうまいらしいぞ

248：異世界の名無しさん

うまいぞ

年に数度は食べる

249：異世界の名無しさん

実際のところ、その世界に住む生き物ごとに全然違う

ドラゴンの肉がうまい世界もあれば毒の世界もある

250：異世界の名無しさん

ティラノサウルスもドラゴンみたいなもんだよね

251：異世界の名無しさん  
せやろか……？

252：1

魔力、計測しました。

数値はあとでグラフ化しますけど、だいたいエルフ村の五倍くらいですね。

253：異世界の名無しさん

ひええ、たまげたなあ

254：異世界の名無しさん

そもそもあの森のなかは、荒野の三倍くらいなんだっけ

255：異世界の名無しさん

つまり通常の十五倍……

256：異世界の名無しさん  
めちやくちやな濃度じゃねえか！

## テイラノサウルス軍団

わたしは兄さんの計画に反対した。

船を丸裸にして、四機のカニロボでテイラノサウルスの巣を攻めるといふのは、いくらなんでも無謀すぎる。

いくら巣にとびきり巨大なテイラノサウルスがいても、だ。

「船は近くの森に隠すから大丈夫だ。これだけ森のなかの魔力が高ければテイラノサウルスも気づかないよ」

と兄は言う。

テイラノサウルスは魔力を辿ってわたしたちや耳長の村を襲っていたのだ、という話だ。

そしてこの周囲の魔力濃度は、耳長の村の五倍、荒野の十五倍。

「本当にテイラノサウルスが魔力に引き寄せられるかどうか、まだわからないよ、兄さん」

「それも作戦に組み入れる。ミナちゃんのカニロボのハードポイントにブースターをつけて移動させて、テイラノサウルスがおびき出されれば……」

そうか、船と同じでカニロボも魔力を放出する。

カニロボにブースターをつければ、いつそう濃厚な魔力が出るだろう。

それこそ、この周囲の魔力よりずっと濃厚に違いない。

「その隙に、ハルカちゃんとアキネちゃんの機体でデカティラノを強襲する。デカティラノ本体は倒す必要がない。そばの機械、きつとあれが諸々の原因だ。あの機械だけを破壊して離脱する」

「で、わたしはミナちゃんの護衛、と。……船の護衛にまわつちや駄目かな」

「ミナちゃんの機体の武装は狙撃特化になる。万一、ティラノサウルスに接近されたら危険すぎる」

ぐうの音も出ない正論。

ハルカちゃんとアキネちゃんは小学六年生の双子で、カニロボの射撃武器を使うのが苦手。

そのかわり、接近戦ではわたしでも勝てないくらい上手な子たちだ。

あの双子、格闘ゲームとか得意だしスポーツも得意だし、とにかく直感的に身体を動かすことに関してはすごいんだよね。

ちなみにミナちゃんはそのへん、とてもどんくさいというか身体の扱いがうまくないというか、平坦な道で転ぶ才能があるというか……。

まあ、そうだね、ミナちゃんの護衛はいるよね。

わたしはおおきなため息をつく。

兄さんをじっとみつめる。

女性になって、なんかすつごく美人になって、おっぱいもわたしよりおおきくなった兄さんが、少し困ったような顔でわたしを見つめ返す。

さらさらの銀の髪、ルビーのような紅の双眸。

でも兄さんの面影がある顔だ。

仕草なんて、もう完全にいつもの兄さんだ。

うう、ずるいよ兄さん、そんな顔をするの。

断れないじゃない。

「わかった。でも、少しでも危なくなったら連絡して。すぐ助けに行くから」

結局、いつだって。

わたしが折れることになるのだ。



作戦の序盤は、予定通りに進んだ。

わたしの機体は、ミナちゃんの機体のそばにくっついて森のなかを移動する。

どちらも背中中のハードポイントにブースターを二基くっつけているから、いつもより少し動きが鈍いのが気になる。

カニロボは銀色の甲殻型装甲をまとったロボットだ。

四足歩行で、さらに二本の手がハサミになっている。

全長は六メートルくらいで、十メートルくらいあるティラノサウルスよりだいぶ小柄。

でもカニロボのハサミはティラノサウルスを簡単にバラバラにしてしまう。

ハサミのつけ根から出す虹色のビームはティラノサウルスの翼を簡単に貫く。

ちゃんと操作できれば、わたしたちの方が圧倒的に強いはずだ。

上空で少し大きめの鳥に擬態したドローンが三機、舞っている。

兄さんが船から操作しているやつだ。

そのドローンが舞いかたを変えた。

「来るよ、ミナちゃん」

「はい、わかりました！」

ミナちゃんのカニロボが、ブースターで加速する。

上空の鳥ドローンたちが回避した。



入れ替わりに、ティラノサウルスが四体、青空を背に急降下してくる。  
ミナちゃんのカニロボがハサミを上に向ける。

ハサミから放たれた虹色のビームがティラノサウルスの一体の翼を焼き切る。  
そいつは苦痛の咆哮をあげて、あらぬ方角へ落下していく。

「あつちの高台に行きますー！」

「あ、待ってってば！」

ミナちゃんの機体が近くの小高い丘を目指す。

森の木々で射線が切れることを嫌がったのだろう。

だからって身を隠す場所のないところに行くのは無謀だつてば！

慌てて追いかけた。

こつちもブースターで加速。

シートに身体が押しつけられる。

カニロボの操縦席は狭いけど、シートはふかふかだ。

たぶん、こういう加速にパイロットが耐えられるように、という配慮なんだろう。

おかげで、この加速にもなんとか耐えられる。

カニロボが浮き上がる。

跳躍で木々を飛び越え、丘の上に着地。

周囲の草が、土砂ごと舞い上がる。

ミナちゃんの機体が反転するや否や、ひときわ太いビームを放った。

後部モニタに視線をやれば、こちらを追いかけてきたティラノサウルスの一体の頭部にビームが命中している。

そのティラノサウルスの頭部が消滅して、勢いを失い森に落ちていく。

前面のモニタではミナちゃんのカニロボのブースターが灰色の煙を出していた。

あー、壊れちゃったかー。

こつちの状態は、と手前のパネルに指を走らせる。

あ、ブースターの片方が脱落してる。

今の機動は無茶だったね、うん、覚えた。

とりあえず自分の機体のブースターを切り離す。

ロケットみたいな二本のブースターがハードポイントから外れ、ごとりと地面に落ちる。

ミナちゃんもすぐわたしにならって、同じことをした。

さて、残るティラノサウルスは二体……。

と思つたら、この高台からだときよく見えるねえ……。

わたしたちに向かって飛んでくる、追加で十体以上のティラノサウルスの群れが。

「全部来たかな？」

「二体倒して、今見えるのが十四体です。まだ谷に少し残っているでしょう」  
「それくらいなら、双子に任せちゃって大丈夫か」

わたしたちは自分たちのできることをするしかない。

ミナちゃんといっしょに、カニロボのビームをひたすら連射する。

でもわたしのビームはあんまり当たらなくて、ミナちゃんのビームは着実に一発で一体ずつ落としていく。

ひ、人としてのスペックの差を感じる……。

ミナちゃん、なんでそんな射撃が得意なの。

「ねえミナちゃん、今度からのび太ちゃんって呼んでいい？」

「こんな時になに言ってるんですか!？」

射撃音に混じって、悲鳴みたいな声が拡声器から聞こえてくる。

うん、ミナちゃんの悲鳴を聞いて、少し落ち着いた。

わたしはミナちゃんより少し前に出て、急降下してきたティラノサウルスの頭をハサミで受け止め、勢いを殺さずえいやつ、と後ろにぶん投げる。

そのティラノサウルスは空中で回転しながら森に落ちていく。

頭から地面に落下したから、きつと再起不能だろう。

よしっ、わたしはわたしにできることをしよう。

幸い、残りのティラノサウルスはだいぶ少なくなつて……。

と、そのときだった。

ぞくり、と背筋に冷たいものが走る。

なんか、やばい。

「ミナちゃん！」

わたしはとつさに、ミナちゃんの機体に体当たりした。

ミナちゃんの放ったビームが狙いを逸れて、ティラノサウルスの一体が命拾いする。

でも、今はそんなの構わない。

ミナちゃんが抗議の声をあげる。

無視。

そのままミナちゃんの機体を抱えて加速、丘から跳躍する。

直後、谷の方でなにかが光った。

虹色のめちやくちや太いビームが、ほんの少し前までいた丘をまるごと薙ぎ払つていった。

デカティラノの口からビームだ。

あれを浴びたら、きつとヤバかった。

このカニロボでも耐えられなかっただろう。空中で、わたしはほつと息を吐く。

危機一髪だった、とモニタを一瞥する。

ミナちゃんの機体もろとも落下しながら周囲の状況を確認して……。

あつ、と声が出る。

それは拡声器でミナちゃんにも伝わったのか、彼女のカニロボが少しびくんとした。でもそんなこと気にしてはいられなかった。

デカテイラノの極太ビームで森の木々が広範囲にわたってなぎ倒されていた。

それによって、わたしたちの船が、兄さんの乗っているランドシップが、丸裸の状態になっていた。

ビームはかろうじてランドシップから外れた様子だったが……。

「テイラノサウルスが、船の方に！」

ミナちゃんが悲鳴のようにそう叫ぶ。

見れば、たしかにテイラノサウルスたちは翼をはためかせ、方向転換してランドシップの方へ向かっていた。

え、なんであつちに行くの!?

あ、そうか。

ビームが薙ぎ払ったせいで、周囲の魔力が一時的に消えたのか。

だからランドシップの魔力がティラノサウルスから丸見えになった。

わたしの頭のなかで、知らないはずの魔力に関する法則が駆け巡る。

ひどい頭痛を覚えた。

嘘、わたしこんなの知らない、わたしの頭のなか、どうなっちゃったの……？

いや、そんなことはどうでもいい。

兄さんが危ないんだ。

「行ってくださいー！」

ミナちゃんの機体が空中で方向転換する。

二本のハサミが、わたしの機体を力強く打ち出す。

わたしの機体は、宙？くランドシップの方へ跳んだ。

# テイラノの谷、終盤戦

塾講師と四人の教え子の異世界漂流、2スレ目

312:1

危機一髪でした。

いやほんと、アドバイスありがとうございます。

313:異世界の名無しさん

いいつてことよ

314:異世界の名無しさん

デコイは艦隊戦の基本

315:異世界の名無しさん

なにそれ

うちの世界じゃ知らないセオリー

316：異世界の名無しさん

世界によってセオリーが違うからね

だからこういう場所のアドバンテージが大きいわけで

317：異世界の名無しさん

でも博士すごいよね

ティラノが魔力を探知している↓じゃあ魔力を放つデコイつくろうぜ、まで一分経つてなかったもんな

318：異世界の名無しさん

それがまさか、ここまで役に立つとは

319：異世界の名無しさん

万が一を考えてのドローンと魔力デコイの組み合わせ

万が一が起きたらそりゃ役に立つというもの



320：異世界の名無しさん

妹さんの機体が戻ってくるまでのほ時間を稼げればいいだけだったしね

もともと、テイラノサウルスの気をほんの少し逸らすくらいの仕事はできる計算だった

それ以上は厳しかっただろうけど

321：異世界の名無しさん

しよせん、攻撃性能もないデコイだしな

すぐテイラノの胃のなかに収まったのも仕方がない

322：1

でもその少しのおかげで、妹が戻ってきてくれたんです。

獅子奮迅の働きで、船を守ってくれました。

彼女たちが戻ってくる場所を守れて、俺も嬉しいです。

323：異世界の名無しさん

妹さんが守りたかったのはイツチなんだよなあ

324 : 異世界の名無しさん  
妹の心、イツチ知らず

325 : 異世界の名無しさん  
これだけ言われてるんだからイツチもわかってるでしょ  
現実から目をそらしているだけで

326 : 異世界の名無しさん  
現実なんて知らない

327 : 異世界の名無しさん  
現実……顧みないもの……

328 : 異世界の名無しさん  
現実……うっ、頭が……

329：異世界の名無しさん  
何人かに流れ弾が

330：異世界の名無しさん  
まだイッチは戦闘中なのにな

331：異世界の名無しさん  
そうだった

妹さんがテイラノを全滅させてめでたしめでたしだと思ってた

332：異世界の名無しさん  
デカテイラノの方の状況がわからないんだよね

333：異世界の名無しさん  
JSふたりに向かったんだっけ

JSに命懸けの戦いをさせる畜生

334：異世界の名無しさん

その畜生を提案したのが俺らなんだよなあ

335：異世界の名無しさん

だってイツチはロボに乗れないし

336：異世界の名無しさん

適材適所でしょ

J Sふたりは接近戦が得意らしいし

337：異世界の名無しさん

格闘家なんだっけ

338：異世界の名無しさん

いや、格闘ゲームとかアクションゲームが好きってだけらしい

それでなんで、ティラノ相手に接近戦をキメられるのかはよくわからない

339：異世界の名無しさん  
本当によくわからないな

340：異世界の名無しさん  
よくわからないけど、できるんだからやってもらうしかないでしょ  
うちの世界では十二歳ならもう成人だよ成人、子どもだって産める

341：異世界の名無しさん  
これだから発展途上国ならぬ発展途上世界はさあ……

342：異世界の名無しさん  
まあ、どこもだいたい似たようなもんでしょ

343：異世界の名無しさん  
うちも、うちも

そもそも貧しい家なら女が生まれたら殺すしな

344：異世界の名無しさん

これだから発展途上世界はさあ……

345：異世界の名無しさん

で、イツチ、デカティラノの方はどうなの

346：1

今、船をティラノの谷に接近させてます。

途中でミナちゃんの機体も拾ったので、またティラノがきても守りきれれると思います。  
す。

あれ以来、巨大ビームは飛んできてません。

347：異世界の名無しさん

デカティラノが戦闘中ってだけならいいんだけどな

348：異世界の名無しさん

直接、接近するのは危険じゃない？

349：異世界の名無しさん

妹さんがイツチから離れたくないんでしょ

350：異世界の名無しさん

深刻なブラコン

351：異世界の名無しさん

そら（あんな危機一髪の後なら）そう（イツチを心配して離れたくない）よ

352：異世界の名無しさん

イツチはもつと自分を大事にした方がいい

353：異世界の名無しさん

ドローンで状況を探れないの？

354：異世界の名無しさん

用意したドローンを全部デコイに使っちゃったんじや？

355：異世界の名無しさん

全部使ったの!?

356：異世界の名無しさん

全部とは言ってなかったはず

けっこう派手にばらまいたらしいけど

357：1

全部は使ってません。

残りのドローンを放ちました。

一部が戻ってきました。

【動画】

358：異世界の名無しさん



おー、カニメカ二体でデカティラノに奮闘してる

359：異世界の名無しさん

雑魚ティラノはもう一掃されてるのね

ボスだけか

360：異世界の名無しさん

そのボスに苦戦してるね

361：異世界の名無しさん

後ろの機械を破壊するだけの簡単な任務なのに

362：異世界の名無しさん

簡単な任務（簡単とは言っていない）

363：異世界の名無しさん

デカティラノ、細切れに口からビーム出して牽制してるのね

思ったより戦闘慣れしてる

364：異世界の名無しさん

JSふたりもよくしのいでるよ

細切れビームは連射間隔が短いのに

365：異世界の名無しさん

JS双子、弾幕ゲー得意そう

366：異世界の名無しさん

リアル火蜂とか冗談じゃない

367：異世界の名無しさん

相手の置き弾を予測してギリギリでかわしてるのな

よくやるわ……

368：1

ミナちゃんの機体を換装して、援護に送り出しました

【画像】

369：異世界の名無しさん

おつ、ハードポイントに長距離砲をつけたのね

この短時間で換装できたのか

370：異世界の名無しさん

博士がオススメしていた換装パックでしょ

ハードポイントにとりつけるだけ、にしたセット

371：異世界の名無しさん

ああ、あのガ○ダムSEEDのパクリ

372：異世界の名無しさん

さすがに空中換装はできないよ！

できないよな？

373：異世界の名無しさん  
できなかつたはず

374：異世界の名無しさん  
カニメカのハードポイントの仕様だと現実的だったよね  
パクリでもなんでも、使えればそれが正義

375：異世界の名無しさん  
そうそう、勝てばいいのよ勝てば

376：異世界の名無しさん  
ここまで来たんだ、勝ってくれよ……

## デカティラノ決戦

「俺は大丈夫だ。行ってくれ」

再三にわたる兄の説得に、わたしはしぶしぶ折れた。

船を守るカニロボは、今、妹のわたしが駆る機体だけ。

さつき兄さんが使ったデコイはもう、ない。

次にティラノサウルスが船を襲えば、兄さんは身を守る術もなく……。

と思うと、どうしてもこの守りを捨てるふんぎりがつかなかった。

たとえ、もう残るティラノサウルスが谷の奥にいるデカティラノだけだとしても、である。

今、ミナちゃんとハルカちゃんとアカネちゃんが谷の奥で奮闘している。

三機がかりでも、デカティラノに対して決定打を与えられないでいる。

取り巻きのティラノサウルスは全滅させてしまったというから、わたしがここを守っている意味はないはず、ということも。

でも万一がある。

そう思うと足がすくんだ。

兄さんを失いたくない、と思うと動けなかった。

そんなわたしに、兄さんが諭す。

わたしに対して、こう告げる。

いつも助けられてきたよ、と。

「この世界に来てからも、なぜか女になってしまっただけから、ずっと変わらず『兄さん』と呼んでくれてありがとう」

ああ、と気づく。

兄さんこそ、変わってしまった自分に一番傷ついていたんだ。

だからこそ、変わらないものが嬉しかったのだ。

「あたりまえでしょう」

わたしは告げる。

「兄さんは兄さんだよ。どこにも行っちゃ嫌だからね」

「もちろんだ。俺はなんとしても生き残るさ。でも、今、みんなで生き残るためには、デカティラノを排除しなきゃいけない」

「そう、だけど」

兄さんは拡声器ごしに笑う。

「甘えん坊だな」

「昔から、わたしはずっと兄さんに対して甘えん坊だよ」

「いつも迷惑をかける」

違う。

迷惑をかけているのは、わたし。

わかっている、わたしが面倒なやつだってことくらい。

でも兄さんは変わらず、面倒なわたしを受け入れてくれる。

なんだかんだと言ってもベッドに入れてくれるし、頭を撫でてくれる。

思う存分、甘やかしてくれる。

「それとも、一緒に行くか」

「それは駄目。この船じゃデカティラノのビームに耐えられない」

「だよな」

行くなら、わたしひとり。

うん、わかっている。

………わかった。

「行くね、兄さん」

「あの子たちを頼む」

「わかっている。兄さんは全員を守りたいんだもんね」

わたしだって、あの子たちを見捨てたいわけじゃない。

そもそもここであのデカティラノを倒せなかったら、ひどいことになる気がするのだ。

これは完全に勘なのだけれど。

兄さんも、同じく勘で、ここが勝負どころだと思ってるに違いない。

じやなきや、わたしに「死ぬかもしれない場所に行け」とこんな説得してこない。

ここで勝たなきやヤバいつて思ってることに關しては、わたし以上かもしれない。

兄さん目をみればわかる。

言いたいことをたくさん我慢して、それでも大切なことだけは伝えるときの目だ。

だからわたしは、結局、納得した。

納得して、カニロボで船から飛び出す。

新しいブースターで限界まで加速して溪谷に突入する。

デカティラノの姿が見えた。

全長二十メートルの巨体は、全長六メートルしかないカニロボにとってはてしなく大きい。

そんなデカティラノの近くで戦うカニロボが二体、少し離れたところから狙撃で援護するのが一体。



近くで戦っているのが小学生の双子、ハルカ機とアカネ機だ。

ハサミで殴っているのがアカネで、ハサミから出すビームでちまちま削っているのがハルカ。

接近戦が得意といっても、ふたりは微妙に、その得意なことが違う。

離れた大岩の陰から狙撃しているのがミナ機。

ミナちゃんはデカティラノが口を開けるタイミングで顎を狙撃し、口からのビームを邪魔している。

おかげで双子はだいぶ戦いやすそうだった。

それでも、なおデカティラノは倒せない。

本命はデカティラノの後ろにある機械なのだけれど、その機械まで近寄れないでいる。

見れば、デカティラノは前脚から細い触手のようなものを複数本伸ばして、ハルカ機とアカネ機の邪魔をしていた。

「あれ、ズルい！　ズルいよー！」

「ん。困ったね」

アカネちゃんの元気な叫び声が、ハルカちゃんのぼんやりとした声が、拡声器で谷に響く。

ふたりとも、ある意味でいつも通りだ。

「ふたりともー！」

わたしも拡声器で叫ぶ。

突進しながらカニビームを連射する。

デカティラノがこちらを向く。

勝負は一瞬、ブースターが焼き切れそうなほど加速していく。

シートに身体が押し潰される。

うめき声をあげた。

でも、左右の手はわたしの意志に従い、よどみなく動く。

機体をわずかに傾けて、デカティラノの口からビームを回避。

ミナちゃんの援護射撃によって、デカティラノの顔がわずかに硬直する。

その隙を突いて、双子が動いた。

左右からまわりこんで背後の機械を強襲しようとする。

デカティラノの前脚から出た無数の触手が、それを全力でブロックする。

おかげで、ほんの一瞬だけ、わたしへのマークが外れる。

わたしの機体は四本の足で地面を力強く蹴る。

ジャンプ。

空中で、ブースターを切り離す。

ぐんぐん上昇し、デカティラノを飛び越えようとする。

デカティラノが口を持ち上げてわたしの機体を迎撃しようとするが……。

「そこですー！」

ミナちゃんの狙撃が、デカティラノの鼻にヒットする。

デカティラノの口から出たビームはあらぬ方向に飛んで、谷の壁面を焼いた。

その隙に、わたしはデカティラノの背後の機体を視界に捉える。

巨大な、黒い機械だった。

ポンプのようなものでデカティラノと繋がっている。

機械全体が脈動するように、不気味に蠢いていた。

不思議と、どこを破壊すればいいのかわかった。

機械の上面にぼつぼつと輝く赤い光。

それを潰せば、エネルギーの循環が途切れるはずだった。

双子が、援護とばかりにデカティラノにとりつき、前脚の触手がわたしの方へ行かないようにする。

ふたりの声援を聞いたような気がした。

黒い蠢く巨大機械の上に着地する。

カニロボのハサミを足もとの赤い点にくっつけ、至近距離からビームを連射する。

次いで、ハサミを振りまわし、手当たり次第にビームを撃ち込んでいく。

立て続けに爆発音が響いた。

足もとの機械が大きく揺れる。

わたしは機体を跳躍させ、離脱。

直後のことだった。

足もとの機械が爆発する。

機体が上方に押し上げられる。

浮遊感があった。

爆風に巻き込まれ、わたしの機体が吹き飛ばされる。

ミナちゃんたちが悲鳴をあげていた。

「大、丈、夫っ」

わたしは機体をうまく制御し、カニロボを何回か回転させると峡谷の奥の壁面に四本足で着地。

うまく衝撃を逃がしてすぐまたジャンプする。

空中で、デカティラノをとらえたモニタをちらりとみる。

全長二十メートルの巨体が、激しく咆哮しながら地面にその身を横たえようとしてい

た。

機械との間のパイプが途中で切断されているのは……双子のどちらかの仕業だろう。機械と分断されたとたん、力を失ったようだった。

どうしてかはよくわからないが、とにかく……。

これで、終わったのだ。

それだけは、よくわかった。

激しく揺れる地面に着地する。

そして……。

## エピローグ

塾講師と四人の教え子の異世界漂流、2スレ目

401:1

勝ちました。

### 【画像】

402:異世界の名無しさん

おおおおおおおっ

403:異世界の名無しさん

よっしやああああああつ

404:異世界の名無しさん

デカテイラノの後ろの機械が粉々だね

405：異世界の名無しさん

デカテイラノにはほとんどダメージが入ってないみたいだけど、機械が破壊されたら倒れたのかな

406：1

はい、妹が機械を破壊したら機能停止したと。  
ドローンの映像です。

【動画】

407：異世界の名無しさん  
なにこれ!?

408：異世界の名無しさん  
曲芸してる機体があるな？

409：異世界の名無しさん

これ妹さんのカニロボか……ブーストジャンプで飛び越えて後ろに着地、足もとにビーム撃ち込んで破壊からの爆風でくるくるまわって壁面で衝撃を吸収からの着地からのバウンド

サーカスかな？

410：異世界の名無しさん

よく見ると、妹さんがデカティラノに挑む瞬間、他の三機もタイミング合わせてすごいことしてる

411：異世界の名無しさん

ピンポイント狙撃でデカティラノの鼻先を射抜くのヤバイわよ

412：異世界の名無しさん

デカティラノに取りついた二機もいい仕事してる

前脚をうまく拘束したな

413：異世界の名無しさん



こいつらみんな二十日前はただの一般人だったの？  
マジ？

414：異世界の名無しさん

イツチが嘘ついてないなら、マジ

415：異世界の名無しさん

頭のなかになんかインストールされたとしても、こんなに見えるものなの？

416：異世界の名無しさん

わからん

それこそMTL12以上の驚異のテクノロジーよ

417：異世界の名無しさん

驚異すぎる

なんでもありかよ

418：異世界の名無しさん

ここまでしてやっと倒せたなんて、改めてやばい相手だったんだな……

419：異世界の名無しさん

つかデカティラノは結局、生物だったの？

420：1

今、残骸を船に運び込んでます。

デカティラノも機械部分が結構あるみたいで。

ロボットみたいなものだったのかな。

421：異世界の名無しさん

ティラノ自動製造機構みたいな感じか？

422：異世界の名無しさん

やっぱり遺失テクノロジーの産物だよなあ

4 2 3 : 異世界の名無しさん

機械つて言っても魔法文明技術準拠のものだろうしね

4 2 4 : 異世界の名無しさん

いつ頃から動いてたんだろうな

ずっと昔から活動していたら、もうちよつとオンボロになつてる気がする

4 2 5 : 異世界の名無しさん

自動クリーニング魔法とかじゃない？

うちの世界では標準装備よ

ただし保守管理は無理

4 2 6 : 異世界の名無しさん

これだけでかくて複雑そうな機構の保守、うちの世界じゃ一級魔導士が複数必要だわ

4 2 7 : 異世界の名無しさん

最近、急に起動したとかかねえ

ずっと凍結保存されていて

428：異世界の名無しさん

誰が、何故？

つてなるからやばいでしょ、それ

429：異世界の名無しさん

そりゃヤバイ案件だけどさ……

430：異世界の名無しさん

ほぼ同時にイツチたちがこっちの世界に来たわけでしょ

それを倒せる船と機体と一緒に

431：異世界の名無しさん

なんらかの意志が働いてるよねえ

432：1

とりあえず画像データの塊、いつもの倉庫にアップしておきます。

デカティラノは機械部分と生体部分がごちゃごちゃしていたので、とりあえず機械部分だけ回収しました。

生体部分はすごい臭いで……。

433：異世界の名無しさん

それはしやあない

434：異世界の名無しさん

もつたないけど船が臭くなると辛そうだしね

435：ロボ博士

>>432のデータはダウンロードした

一瞥しただけだが、これは>>1の船の文明とは別系統の技術だね

436：異世界の名無しさん

博士！

437：異世界の名無しさん

博士きた！

ってそれどういうことですか博士!?

438：異世界の名無しさん

相変わらず一発で雰囲気を変えるな

439：異世界の名無しさん

一瞥で別ってわかっちゃうのしゅごい……

440：異世界の名無しさん

博士はどれだけの文明データ持ってるんだろぅな

441：異世界の名無しさん

少なくとも、人が乗るロボットのあつ文明だけで二百は確認されている

博士は当然、それ全部調べてるから……

442：異世界の名無しさん

そりゃ系統が全然違えばわかるわけか

443：異世界の名無しさん

イツチの船のデータベースにテイラノサウルスがなかった理由もそのへん？

444：異世界の名無しさん

イツチの船がテイラノサウルスと戦う前提なら、最初からドローンのデコイくらい用意されていてもおかしくないわけよ

445：異世界の名無しさん

俺らが用意したわけだけどな

さすがだぜ俺ら

446：異世界の名無しさん

まあそのへんも博士の貢献が大きいわけだけど

447：異世界の名無しさん

じゃあイツチが異世界に来たのとデカティラノがいたのは、全然別？

448：異世界の名無しさん

とも限らない

なんらかの連鎖が起きた可能性はある

風が吹いて桶が儲かるみたいな

449：異世界の名無しさん

どういう連鎖でそんなことが起きるんですかねえ

450：異世界の名無しさん

たとえば相手のデカティラノ特殊召喚にチェーンしてGでドローしたら来たのが  
イツチ、みたいな可能性よ

451：異世界の名無しさん



わかりやすいな

いや、本当にわかりやすいか!?

452：異世界の名無しさん

Gを打った奴とイツチを召喚した奴は別かもしれない、でも関係はあるかも、つてことだよ

453：異世界の名無しさん

わかりやすいけどわかりにくい

454：1

手持ちの機器ではテイラノ機械のデータにアクセスできませんでした。

また、ドローンでデカテイラノの体内を調査した結果、子宮が存在していました。やっぱりテイラノサウルスはデカテイラノが産んだものみたいですね。

455：異世界の名無しさん

デカテイラノが倒れたことで、ひとまずテイラノサウルスの量産は無くなったってこ

とでいいのかな

お疲れイツチ

456：異世界の名無しさん

本当にお疲れさまだよな

最初は北に向かうってどういう判断だと思っただけ

457：異世界の名無しさん

これ放置してたら、エルフの村だけじゃなくて世界のあちこちにテイラノサウルスが溢れてたかもしれないってことでしょ

458：異世界の名無しさん

イツチの世界の人類文明が本気出してなんとかしたかもしれないけどね

459：異世界の名無しさん

なんとかできるんですかね……

カニロボであれだけ苦戦する相手ですよ

460：異世界の名無しさん

うちの文明じゃ無理、滅ぼされる

461：異世界の名無しさん

うちの文明なら勇者連中ががんばればいけるかな

462：異世界の名無しさん

うちの文明は最悪、核でなんとか

463：異世界の名無しさん

奥の手がある文明はそのへんまだな……

イツチの世界の文明がどこまで退行しているか次第なんだが

463：1

やっぱりそのへん、調査が必要ですね。

踏ん切りがつかしました。

人類と接触しましょう。

464：異世界の名無しさん

やっぱそうなるよね

他にどんな地雷が埋設されているかわからないし

465：異世界の名無しさん

その周辺で、デカテイラノがそこにいる原因だけでもわかればいいんだけど

466：異世界の名無しさん

わかればねえ……

まだ対策の立てようもあるんだけどね……

467：異世界の名無しさん

最悪の想定として、博士の言う別系統の文明というのが異世界からの侵略ってことも

あるからな……

468 : 異世界の名無しさん

それは一番やばいパターン

469 : 異世界の名無しさん

下手すると世界が終わるパターン

470 : ロボ博士

わたしはそのつもりで書いたのだが？

471 : 異世界の名無しさん

博士!?

472 : 異世界の名無しさん

待って、待って博士！

473 : 異世界の名無しさん

異世界から来たの、このテイラノ

474：異世界の名無しさん

え、じゃあマジで異世界からの侵略!?

475：ロボ博士

侵略かどうかはわからないがね

別の世界から流れてきたものだろう

回路の組み方に覚えがあるよ

たしか別の世界でも発見された漂流物だ

476：異世界の名無しさん

マジか……漂流物ってことはランダム侵略型か？

477：異世界の名無しさん

ランダムって言っても、侵略後に位置情報を送って本隊を呼び寄せるパターンもある

しな……

478：異世界の名無しさん

このデカティラノが唯一の漂流物ならいいけど

479：異世界の名無しさん

本当に、唯一ならいいけどね……

480：1

わかりました。

そのへんも含めて、一度皆で相談してみます。

みなさん、それから博士。

これからもよろしくお願いしますね。

481：ロボ博士

ああ、わたしの知識くらいならいつでも披露しよう。

それと、細部のデータがもう少し欲しい。

これから必要なものを挙げるから……。

482：異世界の名無しさん  
博士は本当にブレないなあ